令和７年度長崎県公立学校
教員採用選考第１次試験問題

教科・科目
養護教諭

受験番号		氏名	

実施日　令和６年６月１６日（日）

令和７年度長崎県公立学校教員採用選考試験

養護教諭

※解答はすべて解答用紙の該当欄に記入すること。

1

養護教諭の職務に関連する法令について、以下の各問いに答えよ。

問１　次の文は、法令の一部を抜粋したものである。文中の（　①　）～（　⑦　）に当てはまる語句を答えよ。

（A）学校においては、別に法律で定めるところにより、幼児、児童、生徒及び学生並びに職員の健康の保持増進を図るため、（　①　）を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。

（B）この法律は、学校における児童生徒等及び職員の健康の保持増進を図るため、学校における（　②　）に関し必要な事項を定めるとともに、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、学校における安全管理に関し必要な事項を定め、もつて学校教育の（　③　）な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

（C）教育は、（　④　）を目指し、平和で（　⑤　）な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

（D）すべて国民は、健康で（　⑥　）な（　⑦　）の生活を営む権利を有する。

問２　上記（A）～（D）の法令名等を語群からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えよ。

語群

ア　教育基本法	イ　学校教育法	ウ　学校教育法施行規則
エ　学校保健安全法	オ　学校保健安全法施行令	
カ　障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律		キ　障害者基本法
ク　障害者差別禁止法	ケ　日本国憲法	コ　国民保護法

２　次の表は、教室等の環境に係る学校環境衛生基準から一部を抜粋したものである。以下の各問いに答えよ。

検査項目		基　　準
採光及び照明	(10) 照度	(ｱ) 教室及びそれに準ずる場所の照度の下限値は、300 lx（ルクス）とする。また、教室及び（　A　）の照度は、500 lx以上であることが望ましい。 (ｲ) 教室及び（　A　）のそれぞれの最大照度と最小照度の比は、（　①　）：１を超えないこと。また、１０：１を超えないことが望ましい。 (ｳ) コンピュータを使用する教室等の机上の照度は、500～（　②　）lx程度が望ましい。 (ｴ) テレビやコンピュータ等の画面の（　B　）照度は、100～500 lx程度が望ましい。 (ｵ) その他の場所における照度は、産業標準化法（昭和２４年法律第185号）に基づく日本産業規格Z9110に規定する学校施設の人工照明の照度基準に適合すること。
	(11)（　C　）	(ｱ) 児童生徒等から見て、黒板の外側（　③　）°以内の範囲に輝きの強い（　D　）（昼光の場合は窓）がないこと。 (ｲ) 見え方を妨害するような光沢が、黒板面及び机上面にないこと。 (ｳ) 見え方を妨害するような電灯や明るい窓等が、テレビ及びコンピュータ等の画面に映じていないこと。

問１　表中の（　①　）～（　③　）に当てはまる数字を答えよ。

問２　表中の（　A　）～（　D　）に当てはまる語句を答えよ。

３　児童生徒等の健康診断（視力検査）について、以下の各問いに答えよ。

問１　次の文は、検査の方法について述べたものである。文中の（　①　）～（　④　）に当てはまる語句や数字を答えよ。

１　視力表（視標）から眼までの距離は5mとし、立たせるか椅子にかけさせる。
２　眼の高さと視標の高さはほぼ等しく、視標は視線に対し（　①　）に提示する。
　＊並列（字づまり）視力表の場合は、（　②　）の視標ができるだけ目の高さになるよう配慮する。
３　最初に、左眼を遮眼器等で圧迫しないように、のぞき見していないかを注意しながら遮閉する。右眼から眼を細めないで視標の（　③　）の切れ目を答えさせる。左眼についても同様に行う。
４　はじめに（　④　）の指標から開始するのを原則とする。上下左右のうち４方向を任意に見させ、指標の提示時間は３～５秒間とする。

問２　判定に係る次の（１）～（３）の説明文で、正しいものには○を、誤っているものには×をそれぞれつけよ。

（１）0.3の視標が４方向のうち正答が１方向以下の場合は「判別できない」とし、「D」と判定する。
（２）４方向のうち３方向を正答できれば「正しい判別」と判定し、次に0.7の視標にうつる。0.7の視標で同じく「判別できない」なら「C」と判定、「正しい判別」と判定されれば1.0の視標にうつる。1.0の視標で同じく「判別できない」なら「B」と判定、「正しく判別」できれば「A」と判定する。
（３）眼科への受診を勧める基準は以下のとおりとする。
・幼児のうち年長児は、1.0未満であるものに受診を勧める。
・児童生徒は、左右どちらか片方でも0.7未満であるものに受診を勧める。

４　感染症について、以下の各問いに答えよ。

問１　次の文は、学校において予防すべき感染症の考え方（第一種、第二種、第三種感染症）について述べられたものである。下線部①～④の内容が正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を答えよ。

○　各感染症の①学級閉鎖の期間は、感染様式と疾患の特性を考慮して、人から人への感染力を有する程度に病原体が排出されている期間を基準としている。

○　感染症の拡大を防ぐためには、患者は、他人に容易に感染させる状態の期間は②集団の場を避けるようにすること、及び健康が回復するまで治療や③運動の時間を確保することが必要である。

○　診断は、診察に当たった医師が身体症状及びその他の検査結果等を総合して、医学的知見に基づいて行われるものであり、学校から特定の検査等の実施（例えば、インフルエンザ④ＰＣＲ検査やノロウイルス検査）を全てに一律に求める必要はない。治癒の判断（治癒証明書等）も同様である。

問２　第一種～第三種に該当する感染症を語群からそれぞれ２つずつ選び、記号で答えよ。

語群

ア　結核	イ　痘そう	ウ　流行性角結膜炎
エ　急性出血性結膜炎	オ　エボラ出血熱	カ　咽頭結膜熱

5　虐待について、次の各問いに答えよ。

問１　次の表は、虐待の子供への影響を示したものである。文中の（　A　）～（　C　）に当てはまる語句を語群からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えよ。

①　身体的影響	②　知的発達面への影響	③　心理的影響
外傷のほか、栄養障害や体重増加不良、低身長などがみられます。愛情不足により（　A　）が抑えられた結果、成長不全を呈することもあります。	安心できない環境で生活することや、学校への登校もままならない場合があり、そのために、もともとの（　B　）に比しても知的な発達が十分得られないことがあります。	他人を信頼し愛着関係を形成することが困難となるなど対人関係における問題が生じたり、（　C　）が持てない状態となったり、攻撃的・衝動的な行動をとったり、多動などの症状が表れたりすることがあります。

語群

ア　体質	イ　自己肯定感	ウ　親しい友人
エ　能力	オ　成長ホルモン	カ　性ホルモン
キ　学習意欲	ク　アドレナリン	ケ　遺伝

問２　児童虐待防止法によって学校・教職員に求められる主な役割は、次の表に示す通りである。文中の（　A　）～（　C　）に当てはまる語句を答えよ。

表

①虐待の早期発見に努めること【第５条第１項】
②虐待を受けたと思われる子供について、市町村（虐待対応担当課）や（　A　）等へ通告すること【第６条】
③虐待の予防・防止や虐待を受けた子供の保護・（　B　）支援に関し、関係機関への協力を行うこと【第５条第２項】
④虐待防止のための子供等への（　C　）に努めること【第５条第５項】

問３　上の表①～④に掲げたものは、「努力義務」か「義務」となっている。これらのうち、「義務」に当てはまるものを１つ選び、番号で答えよ。

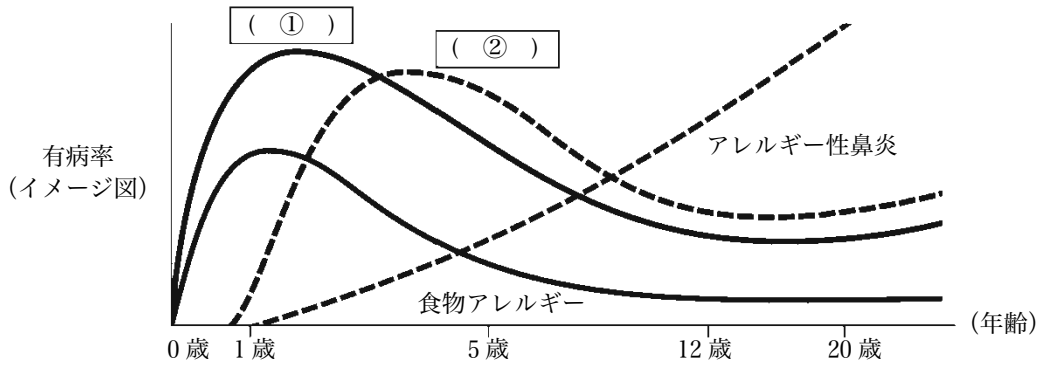
6　アレルギー疾患について、以下の各問いに答えよ。

問１　次の文と図は、多様なアレルギー疾患について述べている。文中の（　①　）～（　④　）に当てはまる語句を答えよ。ただし、同一番号は同一語句を示す。

○　乳児期に（　①　）や食物アレルギーを発症し、幼児期に（　②　）、その後、アレルギー性鼻炎や（　③　）などを発症し、あたかもアレルギー疾患が行進するかの如く順番に発症してくる様子を（　④　）（図）といいます。（　①　）を発症した全ての子供がそうなるわけではなく、乳児期早期に発症した（　①　）の患者さんのなかで、幼児期に自然に治らず持続するタイプに多いことがわかっています。小児の（　②　）の発症は（　A　）ごろまでが多く、アレルギー性鼻炎や（　③　）は（　B　）に急速に増えます。したがって、（　①　）、（　②　）、アレルギー性鼻炎・（　③　）、という順番での発症が多いのですが、先にアレルギー性鼻炎を発症し、後から（　②　）を発症するお子さんもいます。

○　乳児期発症の（　①　）は、血液検査をすると（　C　）という免疫グロブリンの値が高い患者さんが多く、卵やダニなど何らかのアレルゲンの特異的（　C　）抗体が陽性を示す場合、アレルギー体質があるとみなします。小児期に発症する（　①　）や（　②　）は、このアレルギー体質がある人が非常に多いという特徴があります。（　C　）の値は（　①　）が重症であるほど高くなりますので、（　①　）が重症にならないよう早めにしっかり治療したほうがよいと考えられています。

図：（　④　）



問２　上記の文中にある（　A　）～（　C　）に当てはまる語句を、以下の選択肢からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えよ。ただし、同一記号は同一語句を示す。

選択肢

A	ア　１歳	イ　３歳	ウ　５歳	エ　１０歳
B	ア　５歳	イ　幼児期	ウ　学童期	エ　青年期
C	ア　ＩｇＡ	イ　ＩｇＥ	ウ　ＩｇＧ	エ　ＩｇＭ

7　薬品管理について、以下の各問いに答えよ。

問１　次の文は、学校における一般用医薬品管理を示したものである。文中の（　①　）～（　④　）に当てはまる語句を語群からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えよ。ただし、同一番号は同一語句を示す。

○　学校での一般用医薬品の管理に関する責任者は校長です。
　一般用医薬品の購入や（　①　）などの取扱いについては、保健主事、養護教諭等だけで判断せず、必ず校長に相談し、（　A　）の指導・助言を受け、決定するようにしてください。前年度までの児童生徒の傷病の状況、それに伴う一般用医薬品の使用状況及び学校の実態などを踏まえて考えることが必要です。
　なお、一般用医薬品の（　①　）や使用状況などについては、養護教諭が一般用医薬品管理簿などに記録し、校長への報告・連絡及び相談に努めてください。
　また、年度当初には、養護教諭が教職員に対し、保健室の利用の仕方及び一般用医薬品にかかわる取扱いなどについて提案し、保健主事と協力して（　②　）を図ることが大切です。

○　養護教諭は、教職員に保健室の利用方法の周知や一般用医薬品に関わる取扱いについて提案し（　②　）を図ることが大切です。
　児童生徒及び保護者には、入学時のオリエンテーションや保健だよりなどで保健室の利用方法、保健室において行う（　③　）などについて知らせておくことが必要です。また、学級担任からも児童生徒へ保健室の利用方法などについての指導を依頼しておくとよいでしょう。
　切り傷、擦り傷、やけどの専門的な判断を要しない軽微なけがの（　③　）は、（　B　）にはあたりません。しかし、保健室は、その後の（　④　）手当を行う場所ではないため、学校における（　③　）の範囲については、児童生徒及び保護者に対して周知しておくことが必要です。

語群

ア　救急処置	イ　長期間にわたる	ウ　利用の促進	エ　補充	オ　連携
カ　保管	キ　看護	ク　整備	ケ　助言	コ　薬を用いる
サ　共通理解	シ　反復継続した	ス　治療	セ　連絡	

問２　文中の（　A　）、（　B　）に当てはまる語句を、以下の選択肢からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えよ。

選択肢

A	ア　学校医	イ　学校薬剤師	ウ　学校医、学校歯科医又は学校薬剤師
B	ア　治療	イ　医行為	ウ　看護行為

8 学習指導要領について、以下の各問いに答えよ。

問１　次の文は、中学校学習指導要領（平成２９年告示）第１章　総則の一部を抜粋したものである。文中の（　①　）～（　④　）に当てはまる語句を答えよ。

> ⑶　学校における体育・健康に関する指導を、生徒の発達の段階を考慮して、学校の（　①　）を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。特に、学校における（　②　）の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、保健体育科、技術・家庭科及び（　③　）の時間はもとより、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で（　④　）ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮すること。

問２　次の文は、中学校学習指導要領(平成２９年告示)解説　総則編　第３章　第１節　２の(3)　健やかな体　から一部を抜粋したものである。文中の（　Ａ　）～（　Ｃ　）に当てはまる語句を答えよ。

> （　Ａ　）第２条第１号は、教育の目的として「健やかな身体を養う」ことを規定している。
> ～中略～
> 東日本大震災をはじめとする様々な（　Ｂ　）の発生や、情報化等の進展に伴う生徒を取り巻く環境の変化などを踏まえ、生徒の安全・安心に対する懸念が広がっていることから、安全に関する指導の充実が必要である。
> ～中略～
> こうした教育は、第１章総則第３の１に示すとおり、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・（　Ｃ　）で深い学びの実現に向けた授業改善を通して実現が図られるものである。

９　児童生徒の主な心身の健康問題について、以下の各問いに答えよ。

問１　次の文は、心的外傷後ストレス障害（ＰＴＳＤ）について述べたものである。文中の（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を語群からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えよ。ただし、同一番号は同一語句を示す。

地震・火事などの被災、事件・事故の被害や目撃、親しい人の急死など、性被害など強い恐怖・戦慄・無力感に襲われるような、生命にかかわりかねない出来事を体験または目撃したことによるショック（トラウマ）が一過性で治まらずに心身両面に様々な後遺症を引き起こしている状態である。

ＰＴＳＤの主な症状は、「再体験症状（侵入症状）」、「回避・麻痺症状」、「覚醒亢進症状」である。再体験症状の代表は（　①　）（そのときの情景が突然生々しく想起されて動揺する）や悪夢（トラウマ体験が現れる）である。ただし、子供の場合（　①　）がなく、遊びの中でトラウマ場面の一部を再現することがある（トラウマティック・リプレイ）。回避・麻痺症状の例は、トラウマを想起させる場所や状況を避ける（事故を目撃した道を通らないなど）、トラウマの中心部分（性被害など）が想い出せない、現実感が低下する（苦痛と直面しないための（　②　）機制と考えられる）などがある。覚醒亢進症状には、身体的な（　③　）緊張症状（心拍、呼吸が早くなるなど）のほか、過剰な警戒感（すぐにビクッとするなど）、不眠、イライラ、集中困難などがある。これら以外に、一人になるのを怖がる、電気を消すのを嫌がる、幼児かえりしたように甘える（　④　）などの症状もよくみられる。犯罪被害や自殺の目撃、性被害などの場合、“自分が悪い”という誤った罪責感を抱いていることが多い。

ＰＴＳＤの症状はトラウマの発生から数カ月以上たってから現れることがある。また、災害や事件などが起きた日付（１周年など）に、一旦治まっていた症状が再燃することがある（（　⑤　））が症状の悪化ではないので、心配する必要がないことを伝え安心させることが重要である。

語群

ア　副交感神経	イ　アニバーサリー効果	ウ　抑圧	エ　行動
オ　依存	カ　フラッシュバック	キ　昇華	ク　精神
ケ　交感神経	コ　合理化	サ　バックラッシュ	シ　心理的退行
ス　運動神経	セ　防衛	ソ　脊髄神経	

問２　次の（１）、（２）の説明に当てはまる傷病名を語群からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えよ。

（１）たちくらみ失神、朝起き不良、倦怠感、動悸、頭痛などの症状を伴い、思春期に好発する自律神経機能不全の一つである。過去には思春期の一時的な生理的変化であり身体的、社会的に予後は良いとされていたが、近年の研究によって重症の場合は自律神経による循環調節（特に下半身、脳への血流低下）が障害され日常生活が著しく損なわれ、長期に及ぶ不登校状態や引きこもりをまねき、学校生活やその後の社会復帰に大きな支障となることがわかった。発症の早期から重症度に応じた適切な治療と家庭生活や学校生活における環境調整を行い、適切な対応を行うことが不可欠である。

（２）スポーツ外傷等の後に起こるもので、起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頚部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する疾患である。事故後の後遺症として通常の学校生活を送ることに支障が生じているにもかかわらず、まわりの人から単に怠慢である等の批判を受け、十分な理解を得られなかったことなどの事例があるとの指摘もなされている。教職員等の理解を深めるとともに、個々の児童生徒等の心身の状態に応じ適切に対応することが重要である。

語群

ア　上腕骨小頭離断性骨軟骨炎	イ　ジャンパー膝	ウ　脳脊髄液減少症
エ　髄膜炎菌性髄膜炎	オ　起立性調節障害	カ　思春期早発症

養護教諭	受験番号		氏名	

令和７年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

1　１１点（問１　各１点、問２　各１点）

問１	①	健康診断	②	保健管理	③	円滑		
	④	人格の完成	⑤	民主的	⑥	文化的		
	⑦	最低限度						
問２	A	イ	B	エ	C	ア	D	ケ

2　１１点（問１　各１点、問２　各２点）

問１	①	２０	②	１０００	③	１５
問２	A	黒板	B	垂直面	C	まぶしさ
	D	光源				

3　１１点（問１　各２点、問２　各１点）

問１	①	垂直	②	１．０	③	ランドルト環
	④	０．３				
問２	（１）	×	（２）	○	（３）	×

養護教諭	受験番号		氏名	

令和７年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

4

１１点（問１　各２点、問２　各１点）
※問２は、順不同

問１	①	出席停止		②	○		③	休養
	④	迅速診断						
問２	第一種	イ	オ	第二種	ア	カ	第三種	ウ	エ

5

１１点（問１　各１点、問２　各２点、問３　２点）

問１	A	オ	B	エ	C	イ
問２	A	児童相談所	B	自立	C	教育
問３	②					

6

１１点（問１　各２点、問２　各１点）

問１	①	アトピー性皮膚炎		②	気管支喘息	
	③	アレルギー性結膜炎		④	アレルギーマーチ	
問２	A	ウ	B	ウ	C	イ

養護教諭	受験番号		氏名	

令和７年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

7

１１点(問１　各２点、問２　完答３点)

問１	①	カ	②	サ	③	ア
	④	シ				
問２	A	ウ	B	イ		

8

１１点(問１　各２点、問２　各１点)

問１	①	教育活動全体	②	食育	③	特別活動
	④	活力				
問２	A	教育基本法	B	自然災害	C	対話的

9

１２点(問１　各２点、問２　各１点)

問１	①	カ	②	セ	③	ケ
	④	シ	⑤	イ		
問２	(１)	オ	(２)	ウ		